

令和5年度 事業報告

自 令和5年 4月 1日
至 令和6年 3月31日

社会福祉法人 名古屋市守山区社会福祉協議会

目 次

主な活動及び事業

1	法人運営	1
2	広報・啓発活動	2
3	「守山区地域福祉活動計画」の推進	3
4	地域福祉活動	4
5	ボランティア給食サービス事業	10
6	ボランティア活動	12
7	重層的支援体制整備事業	15
8	在宅福祉関係事業	16
9	生活福祉資金貸付事業	21
10	心配ごと相談事業	22
11	在宅サービスセンターの運営	22
12	児童館・福祉会館の管理運営	23
13	共同募金運動への協力	26

1 法人運営

理事会、評議員会等

1 理事会

開催回	開催月日	会場	主な議事内容
86	令和5年6月2日(金)	研修室	<ul style="list-style-type: none">令和4年度事業報告令和4年度決算役員候補者の推薦の提案評議員候補者の推薦の提案
87	令和5年6月27日(火)	区役所講堂	<ul style="list-style-type: none">会長・副会長の選定顧問の決議第67回評議員会の招集
88	令和5年12月13日(水)	区役所講堂	<ul style="list-style-type: none">定款の一部改正第68回評議員会の招集
89	令和6年3月26日(火)	区役所講堂	<ul style="list-style-type: none">令和5年度資金収支補正予算令和6年度事業計画令和6年度資金収支予算諸規程の一部改正第5次守山区地域福祉活動計画役員等賠償責任保険契約への加入第69回評議員会の招集

2 評議員会

開催回	開催月日	会場	主な議事内容
66	令和5年6月27日(火)	区役所講堂	<ul style="list-style-type: none">令和4年度事業報告令和4年度決算役員の選任
67	令和5年12月13日(水)	区役所講堂	<ul style="list-style-type: none">定款の一部改正
68	令和6年3月26日(火)	区役所講堂	<ul style="list-style-type: none">令和5年度資金収支補正予算令和6年度事業計画令和6年度資金収支予算会長専決規程の一部改正第5次守山区地域福祉活動計画

3 評議員選任・解任委員会

開催回	開催月日	会場	主な議事内容
10	令和5年9月6日(水)	相談室	・新評議員2名の選任

4 監事監査

事項	開催月日 出席状況	会場	主な議事内容
監事 監査	令和5年5月31日(水) ・監事2名	相談室	・事業報告等の監査 (理事の職務の遂行に関する監査) ・計算関係書類及び財産目録の監査

2 広報・啓発活動

1 福祉情報紙「社協だより」の発行

区内の福祉情報や本会の活動内容等を掲載した広報紙を、年2回(秋号9月、春号2月)発行し、区内全域に配布しました。

【発行実績】

vol. 93 (令和5年夏号) 70,000部

vol. 94 (令和6年春号) 70,000部

2 「福祉情報設置店」の設置・推進

喫茶店や郵便局などの身近な場所で、区民の皆様役に役立つ福祉情報が入手できる福祉情報設置店の設置を推進しました。「設置店サポーター」と呼ばれるボランティアが、定期的に設置店へ情報誌等をお届けしました。

【設置店】 61か所

【設置店サポーター】 22名



福祉情報の設置

3 「ホームページ」の運営

本会の取り組みや、最新の福祉情報を本会ホームページに掲載し、区民の皆様等へ情報を発信いたしました。

【アクセス件数】

62,515件(月平均5,209件)

*小数点以下四捨五入

3 「守山区地域福祉活動計画」の推進

1 第4次計画の推進、第5次計画の策定

誰もが安心して暮らせる“福祉のまち守山”を目指し、地域住民やボランティア、福祉関係機関・団体、福祉サービス事業者や行政などの多様な機関が連携・協働した取り組み等を計画的に行っており、第4次計画（計画期間：令和元年度～令和5年度）は、令和5年度が計画最終年となりました。

なお、令和5年度は次期計画である第5次計画の策定作業を行う年度でもあり、第4次計画の推進と並行して第5次計画の策定作業を進めました。

(1) 第4次計画推進委員会兼第5次計画策定作業委員会

開催日：令和5年6月2日（金）

令和5年12月4日（月）

令和6年2月22日（木）

内 容：各プロジェクトチーム（ワーキンググループ）の進捗状況の共有、意見交換、第5次地域福祉活動計画の策定

(2) プロジェクトチーム（第4次計画の推進）・ワーキンググループ（第5次計画の策定）

	プロジェクトチーム（ワーキンググループ）会議開催日			
おしごとづくり	8月2日	10月12日	1月22日	
子どもの活躍場づくり	8月7日	9月25日	11月17日	1月23日
つながりづくり	9月22日	10月30日	11月24日	1月31日

<おしごとづくりプロジェクトチーム・ワーキンググループ>

第4次計画の進捗状況の確認及び取り組み企画についての評価を行うとともに、第5次計画の策定作業を行いました。年齢や障がいの有無などに関係なく、誰もが特技や技能などを発揮し、活躍できる場を創設し、社会参加や生きがいづくりを目指し、下記の事業を実施しました。

①地域の人が集える居場所づくり

- ・ライ麦オープンスペース（16回 延べ 304名参加）

②緑地資源を活用した多世代交流

- ・多世代協働の「ライ麦ストロー&ヒンメリづくり」及び「リースづくり」実施
- ・小幡緑地の素材を使ったリースづくり、ふれあい・いきいきサロンへハンドクラフトサポーター出張



ライ麦オープンスペース



サロンでのヒンメリづくり

<子どもの活躍場づくりプロジェクトチーム・ワーキンググループ>

第4次計画の進捗状況の確認及び取り組み企画についての評価を行うとともに、第5次計画の策定作業を行いました。

また、「第3回 手づくりえほん作品」募集を行い、入賞作品の展示会を区役所や守山児童館、図書館などで実施しました。なお、今年度は表彰式を行い、作品を応募した子どもたち、保護者の方々と交流を図るとともに、活動計画賞の絵本「それぞれのハッピー」をはじめ受賞4作品について、

「守山にこここ福祉マルシェ」にて子どもボランティアによる読み聞かせを行いました。



表彰式の様子

<つながりづくりプロジェクトチーム・ワーキンググループ>

第4次計画の進捗状況の確認及び取り組み企画についての評価を行うとともに、第5次計画の策定作業を行いました。

また「誰でも参加できるなんでもウォークラリー」を実施。散歩中の写真の投稿を募集し、Instagram等で反響が多かった写真について1～3位まで表彰しました。「誰でも参加できるじゃがいもプロジェクト」では、児童や高齢者が一緒に調理実習を行い、多世代での交流が実現しました。



「いももち」調理中

4 地域福祉活動

1 学区地域福祉推進協議会（推進協）への支援

各小学校単位に設置された地域福祉活動の推進組織である「学区地域福祉推進協議会（推進協）」の活動について、本会の学区担当職員等が、学区の特色や実状を踏まえた支援を行いました。

地域福祉推進協議会役員研修会・事務説明会の開催

開催日：令和6年3月14日（木）

内 容：『防災について～能登半島地震から見える地域の役割～』

① 能登半島地震の現場の状況について

講師 名古屋市社会福祉協議会 地域福祉推進次長 野川 祐史氏

② 災害が起きたときのために日頃からできる備えとは？

講師 防災ボラネット守山 代表 鷲見 修氏

・助成金精算・申請にかかる事務説明

・ボランティア活動保険、ボランティア行事用保険の案内

2 名古屋市地域支えあい事業の推進（名古屋市受託事業）

守山区では5学区の推進協が、高齢者や障がい者、子育て世代等住民のちょっとした困りごとの相談を受け付け、ご近所同士の助けあいによって困りごとの解決を図るなど、地域のつながりづくりを進めました。

また、学区単位で行う「活動連絡会議」などを通じて、住民や専門職などが地域の福祉課題やその解決に向けて話し合いが行われました。

学区担当職員が実施学区へ訪問し、本事業の活動を支援しました。

実施学区	登録ボランティア数	活動延人数	ボランティアポイント数
本地丘	31名	1,007名	3,514P
吉根	40名	291名	876P
白沢	52名	697名	5,071P
大森北	37名	665名	2,392P
小幡北	67名	478名	1,247P

※ボランティアポイント…学区で認定された支えあいボランティア活動によって付与、ポイントは現金に換算され（1P=10円）、推進協等へ還元されます。

<守山区地域支えあい事業研修交流会>

【研修名】令和5年度 守山区地域支えあい事業研修交流会

【開催日】令和5年7月5日（水）

【参加者】10名（事業実施5学区のご近所ボランティアコーディネーター等）

【内容】講話『人間関係を上手くやるコツ教えますー対人魅力の心理学ー』
金城学院大学 人間科学部 多元心理学科 北折 充隆教授による講義。
その後、小グループに分かれて各学区の実施状況などの情報交換を行いました。

【研修名】地域福祉のすゝめ

【開催日】令和5年10月24日（火）

【参加対象者】地域福祉推進協議会構成員、サロン活動実践者等

【内容】『なぜ、私たちは地域でつながろうとしているのか』
東京都立大学 人文社会学部 室田 信一准教授より講演。
その後、東区葵学区地域福祉推進協議会等から実践状況をご報告いただきました。

【研修名】ご近所ボランティアコーディネーター交流会

【開催日】令和5年7月27日（木）

【参加対象者】名古屋市内各区のご近所ボランティアコーディネーター

【内容】地域支えあい事業ご近所ボランティアコーディネーターによる情報交換会を実施。各学区の個別支援（生活支援活動）の取り組みについて情報交換を行いました。

3 「ふれあい・いきいきサロン」の推進及び、生活支援の仕組みづくり検討

地域の住民同士のつながりや仲間づくり、地域の生活課題への気づきや身近な相談拠点ともなり得るサロン（たまり場）づくりの支援を、財政面も含め行いました。



サロン運営者連絡会に加え、今年度新たにサロン運営者のためのサロンを開催しました。サロン運営者からは、「参加者の趣味や特技を生かしてサロンで発表してもらっている」「久々に集まって話ができるととても良かった」「ほかのサロンの話や情報提供が参考になった」といった声がきかれました。

(1) 新設サロン

名 称	実施学区
マミースプーン in 西城	西城
サロン太極拳	白沢
SOMPO 流子ども食堂上飯田	瀬古
ポッチャひまわりサロン	志段味東
カフェみずいろの家	志段味東
上志にここサロン	上志段味
たまり場 BunBun おしゃべりサロン	天子田
子ども地域食堂	天子田

(2) 本会運営のサロン

愛知県健康づくりリーダーと連携し、本会及びコープ小幡店の2会場で「わいわいサロン」を実施しました。新型コロナウイルスの影響で中止していたコープ会場についても、令和6年1月より再開しました。

実施会場	実施回数	延べ参加者数
本会研修室	11回	161名
コープあいち小幡店	3回	54名

(3) サロン運営者のためのサロン

サロン運営者同士のつながりづくりや息抜き、サロン運営にまつわるお悩み解決、サロンプログラムのマンネリ解消等を目的として3回開催しました。

- ① 7/7 中日新聞大人のちぎり絵・情報交換（31名）
- ② 10/27 サロンで使える手づくりおもちゃ・交流・情報提供（28名）
- ③ 2/16 モルックを体験・情報交換・情報提供（36名）

(4) 生活支援専門部会の開催

高齢者の介護予防・健康増進につながる健康体操やサロンの拡充、生活支援活動を行うボランティアの支援や地域生活における課題把握について、関係機関や地域住民、行政等と検討する部会を年3回開催しました。また、スマホが苦手な方に優しく接して相談に乗る「スマホ相談員はじめて講座」を開催し、「スマホなんでも相談会」を8回実施。延べ21名の方にご参加いただきました。

6/24 スマホ相談員はじめて講座（4名参加）講師：(一社) あそしある 榊原氏

開催日	〈検討・実践・報告〉内容	参加者数
5月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度事業計画（案）について ・サロン運営者サロンについて ・ICTを活用した地域福祉活動の支援について ・出張講座&地域座談会の実施について ・移動や運搬に関する課題について 	19名
9月8日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度事業の進捗について ・「みんなの冷蔵庫」について（情報提供） 	16名
2月2日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度事業の進捗について ・自立生活サポート事業について ・令和6年度委員について ・「もりやまBASE いっぽ」について（情報提供） 	17名

4 「高齢者はつつ長寿推進事業」の実施（名古屋市受託事業）

市内にお住まいの65歳以上の高齢者を対象に、健康増進活動やレク、脳トレ、創作などを行い、仲間づくり・介護・認知症予防やフレイル対策への理解を促し、社会参加促進を目的としてサポーターさんのご協力のもと週4日、区内8会場で実施をしています。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場によっては、二部制としたり、参加人数を半分に実施していましたが、令和5年度からはコロナ禍前のように一部制に戻し、実施時間も1時間から2時間に戻しました。なお、参加者の安全と健康を最優先に考慮し、引き続き感染対策をした上で、実施しました。



参加者が行う見守活動「みまもるん」

【実施状況】

学区	会場	事業開始日	実施曜日	参加登録者数		年間延べ参加者数
				前期	後期	
白 沢	川嶋神社会館	平成18年 10月2日	月	25名	25名	912名
廿軒家	廿軒家会館			26名	25名	
森孝西	森孝西コミセン	平成18年 10月4日	水	26名	25名	986名
小幡北	小幡北コミセン			13名	13名	
志段味東	志段味東コミセン	平成18年 10月5日	木	23名	25名	989名
苗 代	本会研修室			25名	25名	
瀬 古	平成会館	平成18年 10月6日	金	24名	24名	902名
大森北	大森北コミセン			21名	23名	

令和5年度

合 計	182 名	185 名	6,934 名
-----	-------	-------	---------

5 「守山区人権尊重のまちづくり事業」の実施（守山区受託事業）

区民一人ひとりの人権が尊重され、差別や偏見のない「人間性豊かなまち・守山」の実現を目指した本事業を守山区から受託実施しました。令和5年度は、インターネットを安心して安全に利用できる環境整備を推進するため、「被害者にも加害者にもなりえる！インターネットによる人権侵害」をテーマに、SNSの種類や事例を交えながらインターネットの人権についての講演を行いました。

【開催日】令和5年11月29日

【会 場】守山文化小劇場

【講 師】一般社団法人安心安全インターネット塾

6 各種事業の後援、協力

社会福祉に関する団体等が実施する、広く区民の社会福祉の増進や啓発に資する事業に対し、後援や協力を行いました。

(1) 後援

事業名	実施日	主催	内容
令和5年度保育まつり	11月10日	守山区 保育協会	守山区内の全保育園年長児が一堂に集まり、一人ひとりが年長児として大きくなったことを自覚し、小学校に入学することの期待を持たせるとともに、保育園相互の親睦を図る。
きょうされん40周年記念映画「星に語りて」「夜明け前」上映	1月19日	きょうされん 愛知支部	きょうされん40周年を記念して製作した、東日本大震災で障害者がおかれた状況を映画にした「星に語りて」及び日本の精神医学の草分けと言われた呉秀三氏の業績を描いた「夜明け前」を上映する。

(2) 協力

事業名	実施日	主催	内容
小幡緑地まつり 2023	12月9日	小幡緑地まつり 2023 実行委員会	地域共生社会の実現につなげるため、地域の各種団体が分野を超えて集まり、交流を深めながら、地域住民が世代や障がいの有無を超えて楽しみ、つながりをつくるイベント。

7 守山にこここ福祉マルシェの開催

コロナ禍で販売機会が減少した区内障がい者福祉施設を応援するため、守山区ボランティア連絡協議会・守山区役所と共催して授産製品販売会「守山にこここ福祉マルシェ」を開催し、多くのお客様にご来場いただきました。

開催日	来場者
7月28日	600人
11月11日	700人
2月10日	500人
合計	1,800人



8 各種福祉関係団体への支援・助成等

共同募金配分金を財源として、各団体が実施する事業に助成しました。

(1) 高齢者関係事業

① 老人クラブ事業

事項	実施日・期間	会場
さわやか健康づくり講習会	5月12日	守山区役所 講堂
趣味の作品展	5月～6月	守山区役所講堂
料理講習会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
友愛活動研修会	1月17日	守山文化小劇場

② 敬老行事事業

事項	実施月	会場
敬老祝品贈呈事業	9月	—

(2) 児童関係事業

① 子ども会事業

事項	実施日・月	会場
子ども会活動支援	通年	守山区役所
オリエンテーリング大会	11月19日	愛知県森林公園
キャンプ講習会	8月25日～27日	定光寺野外活動センター
子ども会ノート作成	3月	区役所

② 保育園事業

事項	実施日・期間	会場
保育園児プラネタリウム見学	6月～7月	名古屋市科学館
保育まつり	11月10日	区役所講堂
保育園卒園式祝電	3月	区内保育園・認定こども園

(3) 障がい児(者)関係事業

事項	実施日	会場
バスハイク	11月19日	ブルーメの丘
親子交流会	3月31日	体感！しだみ古墳群ミュージアム
クリスマス会	12月10日	区役所講堂

卒業生を祝う会	2月	養護学校始め区内小・中学校
---------	----	---------------

(4) その他事業

事 項	実施期間	会 場	備 考
社会を明るくする運動	7月～12月	—	保護区保護司会
更生保護施設の草取り ・花植え事業	通年	—	更生保護女性会
ふれあいサロン啓発事業	通年	愛知自啓会集会室	更生保護女性会
元気まつり守山	9月24日	三菱電機守山グランド	区民まつり実行委員会
グループ活動発表会	11月～12月	区役所講堂	地域女性団体連絡協議会
もりやまっこ子育て広場	10月31日	スポーツセンター	子育て支援ネットワーク 事業守山チーム

5 ボランティア給食サービス事業

* 昭和51年度から開始

1 配食サービスによる見守り活動 等

民生委員や給食ボランティア等と連携し、ひとり暮らし高齢者等へ昼食用弁当を配食しました。

手渡しによる配食により、安否確認を始め、生活上の困りごと等の把握・解決に努めました。

また、令和2年以降中止していた「手づくりおせち」を再開しました。



配食による声掛けと見守り活動

(1) 「昼食用弁当」等実績

① 配食方式

ア 本会主催 ※「利用者数」は、3月時点の利用者数。

項目	員数	備考
利用者数	139名	＜配食日＞ 志段味地区 週1回（水） 上記以外 週2回（火・木）
年間配食数	10,602食	※小幡、守山、西城、瀬古、下志段味、上志段味学区を除く。 ＜業者＞ 日本ケータリング（株） ヤクルト東海（株）

イ 学区福祉推進協議会主催 ※月1回以上実施学区。 (順不同)

学区	年間配食数	備考
白沢	384食	月2回（尾張荘弁当）

② 会食方式 ※学区地域福祉推進協議会主催で月1回以上実施学区。 (順不同)

学区	年間提供数	備考
瀬古	590食	月2回

(2) 「おせち料理」実績

給食ボランティアにより本会調理実習室にて、学区ごとでおかずを割り当てし、調理しました。

実施日 12月15日
(前日、前々日仕込)
参加者 23名
作成数 105食



おせちづくり



※大森・甘軒家・森孝東・瀬古・大森北・天子田・白沢・小幡北・志段味西の9学区

(3) ボランティア数 (令和6年3月末現在)

306名

(4) その他

- ① かわら版の発行 (配食予定表) 年12回
- ② ボランティアだよりの発行 年1回
- ③ エコキャップ運動 年10回

※ ペットボトルのキャップを回収し、その売却益を世界の途上国の子どもたちへのワクチンチンとして届ける運動。本会では、ボランティアの協力のもと、集まったキャップを仕分けし、受入業者へ納品しています。



エコキャップ隊の活動

2 企画委員会等の開催

事業の円滑な運営と活動の質を向上させるために、給食ボランティア企画委員会を毎月開催するとともに、運転・添乗・仕分けボランティア打合せ・研修会を二部制にして開催しました。

■開催状況

事項	開催日	場所
企画委員会	毎月第1木曜日	アクロス小幡共用会議室
運転・添乗・仕分け ボランティア等打合せ	4月19日 10月18日	研修室
連絡員等打合せ	4月19日	研修室
	7月19日	
	10月18日	
2月21日		
手作りおせち	12月15日	調理実習室 給食実施学区
給食ボランティア研修会	7月19日	研修室

6 ボランティア活動

1 ボランティアセンターの運営

ボランティアセンターの運営を通し、ボランティア活動に関する相談、情報提供及び地域住民や福祉施設などからのボランティア派遣の依頼に対して、需給調整を行いました。

(1) ボランティア活動の需給調整 需給調整件数 235件

<内訳>

相談（依頼）者		内 容	
個人（本人）	174件	地域（在宅）生活支援	158件
社協内他部署	12件	見守り・話し相手・孤立防止	6件
福祉施設等	26件	移動・外出	6件
地域住民・団体	23件	社会参加・交流	39件
その他	0件	趣味・教養	4件
		施設ボラ運営系	0件
		施設ボラ披露系	21件
		その他	1件

(2) 登録ボランティア数

グループ・団体数	89団体
個人登録者数	45名

2 「守山区ボランティア連絡協議会」との連携

守山区におけるボランティア団体の連絡組織である「守山区ボランティア連絡協議会」（18団体で構成）と連携し、ボランティア同士の交流を通じたスキルアップや新たな仲間づくりからの担い手増等を目的とした、「ボランティア養成講座」を開催しました。

(1) ボランティア養成講座

事 項	実施日・期間	場 所	参加者
やってみよう！手話 (全12回)	4月20日 ～7月13日	本会 研修室	15名
夏休みボランティア一日体験講座 読み聞かせ体験じぶんで読んでみよう！	8月4日	本会 研修室	15名
大人向けボランティア一日体験講座 (新規)救命うさぎを作ってみよう！	2月5日	本会 研修室	28名
点字教室（全12回）	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止		

(2) ボランティアのつどい⇒中止

(3) ボランティア保険の取扱い

種別	延べ加入件数	延べ加入人数
ボランティア活動保険	140件	2,492名
ボランティア行事用保険	142件	11,232名

■実施事業（本会主催の定例実施事業）

事業名	開催日	会場等
わいわいサロン（体操）	毎月第2金曜日	研修室
事業名	開催日	会場等
声の図書・録音テープ貸出し	毎月第2土曜日	ロビー
子ども点字教室	毎月第2土曜日	相談室
折り紙を楽しむ会	毎月第2土曜日	ボランティアルーム
おもちゃ病院	毎月第4土曜日	ロビー
健康もりモリッス体操クラブ	毎月第4土曜日	研修室
みんなでうたいましょう	月1回	中止

3 障がい者団体や小・中学校・高校や地域と連携した福祉教育の推進

ボランティアや障がい者団体等との協力のもと、区内小学校や高校等における車いす、手話、アイマスク・ガイドヘルプ、高齢者疑似体験などの福祉教育実施への協力の他、障がい当事者やユニバーサルデザインについて講話を行いました。

(1) 福祉教育実施

実施日	名称	対象	人数	内容	協力
5月31日	天子田小	5年生	47名	視覚障がい者講話 アイマスク体験	当事者講師2名 社協職員2名
6月16日	緑丘高校	2年生	20名	手話体験講座	当事者講師2名 社協職員1名
6月21日	天子田小	5年生	47名	手話体験講座 聴覚障がい者講話	当事者講師4名 社協職員1名
6月30日	小幡小	5年生	98名	視覚障がい者講話 アイマスク・ガイドヘルプ	当事者講師1名 ボランティア2名 社協職員1名
7月14日	守山小	4年生	121名	視覚障がい者講話 アイマスク体験	当事者講師1名 社協職員1名
8月17日	小幡民生	—	17名	視覚障がい者講話 アイマスク体験	当事者講師1名 社協職員1名
9月12日	緑丘高校	2年生	19名	視覚障がい者の講話	当事者講師1名 社協職員1名
9月15日	小幡北小	5年生	62名	視覚障がい者の講話 アイマスク体験	当事者講師4名 社協職員1名
9月26日	小幡北小	5年生	62名	車いす体験 車いす当事者の講話	当事者講師3名 社協職員1名
10月11日	大森小	5年生	68名	高齢者疑似体験 認知症サポーター養成講座	当事者講師1名 いきいき支援センター・社協職員5名
10月18日	下志段味小	5年生	169名	視覚障がい者の講話 アイマスク・ガイドヘルプ 車いす当事者お話し会 車いす体験	当事者講師3名 サポート職員1名 社協職員3名
12月4日	瀬古小	5年生	105名	手話体験講座 視覚障がい者の講話 アイマスク・ガイドヘルプ	当事者講師7名 社協職員2名

実施日	名称	対象	人数	内 容	貸出数
12月5日	本地丘小	5年生	12名	高齢者疑似体験と質問会	当事者講師1名 職員1名
3月1日	地域向け	一般 民生	20名	発達障害についての講話 発達障害の疑似体験	当事者講師3名 社協職員1名

(2) 区内企業・個人など資材貸出

実施日	名称	対象	人数	内 容	貸出数
7月4日～5日	守山支援学校	生徒	54名	授業のため	高齢者疑似体験セット 10
7月31日～ 8月7日	(株)アコード	職員	8名	研修のため	高齢者疑似体験セット 6
10月2日～4日	1980 ボランティア	ボラ	5名	研修のため	高齢者疑似体験セット 1
11月28日～30日	吉根中学校	生徒	—	授業のため	高齢者疑似体験セット 9
2月26日～ 3月1日	二城小学校	生徒	—	学習のため	高齢者疑似体験セット 6



発達障害疑似体験の講話
(地域向け)



視覚障がい者によるお話し会
(小学校)



当事者による手話体験講座
実践 (高等学校)

4 耐震留具取付サービス事業

*平成17年度から開始

ひとり暮らし高齢者のいる世帯や障がい者のいる世帯等を対象に、地震に備えた家具耐震留具の取り付けを「防災ボラネット守山」と連携し実施しました。

【実施期間】 令和5年7月～令和6年3月

【施工件数】 66件 (施工累計件数944件)



耐震留具取付作業の様子

7 重層的支援体制整備事業

(1) モデル事業実施開始

重層的支援体制整備事業は、社会福祉法に規定された国の事業で、既存の介護、障がい、子ども、生活困窮の相談支援等の取り組みを活かしながら、地域住民の複雑・複合化した支援ニーズに対応する包括的な相談支援体制を構築するため、相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援を一体的に行うものです。

本会と市社会福祉協議会のコンソーシアムにより名古屋市から受託した「地域共生社会の実現に向けた重層的支援体制整備事業」について、令和5年度モデル事業として実施しました。

(2) 包括的相談支援チームの配置

名古屋市においては、相談支援機関どうしの連携の支援や課題を抱えた世帯へ継続的に訪問し伴走支援を行う「包括的相談支援チーム」（社会福祉士、精神保健福祉士の資格を保有する専門職員等）を行政区ごとに配置することとしています。

本会においては、相談支援担当次長1名、主事1名および専門職である包括的相談支援スタッフ2名、つながりづくりの拠点を運営する寄り添いスタッフ1名を配置しました。引き続き、名古屋市の仕様書に基づいた人員体制を確保していきます。

〈実施状況・対応件数〉

令和5年度モデル事業実施状況（令和6年3月末現在）

	多機関協働	アウトリーチ	参加支援等
ケース数	20 (終結7)	11 (終結2)	7

対応実績	ケース対応		地域づくり支援
	電話・メール	訪問・面談	
本人・家族	378回	289回	74回
関係機関等	693回	340回	

(3) 食料支援の実施

一時的に生活困窮となり緊急を要する世帯に対し、社会福祉協議会にて備蓄している食料や、今年度から始まったフードドライブや寄付で集まった多くの食料品・生活用品等を、生活状況の把握をしながら適宜提供支援しました。あわせて、対象者の状況により、認定NPO法人セカンドハーベスト名古屋が行う食料支援（年度3回が限度）を活用しながら支援を行いました。

社会福祉協議会、東部いきいき支援センター、包括的相談支援チームが必要に応じて連携し、制度外のニーズに対して臨機応変に対応しています。



にこにこ福祉マルシェ
でのフードドライブ

8 在宅福祉関係事業

1 通所介護事業（デイサービスセンター）の運営

運営にあたっては、利用者が安全で安心できる心地よいサービスを提供することに努めました。特に、利用者の身体機能の維持・向上とそれに伴う介護者の負担軽減化につながるプログラムを積極的に取り入れ実施いたしました。

レクリエーションでは、講師を招いて「音楽療法」「3B体操」「ヨガ」等を取り入れ、毎月一回の「おやつ作り」を行いました。

新型コロナウイルスがインフルエンザと同じ5類相当の感染症扱いになりましたが、感染予防のため、消毒の徹底、デスクパーテーションの配置、デイルーム内と送迎車にオゾン発生器を設置するなどの対応をしました。

■利用状況

	営業日数 (日)	実利用 人員 (名)	延利用人数 (名)	内 訳		一日 平均人数 (名)
				要支援	要介護	
令和5年度	307	551	5,062	538	4,524	16.5
令和4年度	307	545	5,184	623	4,558	16.9
増 減	0	6	▲120	▲85	▲34	▲0.4



音楽療法の様子



たこ焼きパーティの様子

2 市社会福祉協議会「守山区介護保険事業所」事業への協力



ケアマネのキャラクター「まねにゃん」

(1) 居宅介護支援事業 (令和6年3月の月間実績)

ケアプラン作成総件数	214件 (予防給付ケアプラン 74件含む)
------------	---------------------------

【主な活動】

- ・高齢者いきいき相談室 (いきいき支援Cブランチ型相談室) 相談件数24件
- ・「はち丸ネットワーク」(情報連携システム〔医療と介護の連携〕)へ参画
- ・他法人との共同事例検討会参加 (他 キャリアパス研修等実施) など
- ・介護支援専門員研修 実習生受け入れ。

(2) なごやかヘルプ (訪問介護) 事業 (令和6年3月の月間実績)

【提供サービス】

- ① 介護保険制度における訪問介護事業
- ② 障害者総合支援法における指定居宅介護事業
- ③ 家事介護サービス事業
- ④ 養育支援ヘルプ事業
- ⑤ 生活応援サービス事業

なごやかスタッフ 登録者数	56名
------------------	-----

お客様の人数		237名
内 訳	① 介護保険 (介護給付)	71名
	① 介護保険 (予防給付)	69名
	② 障害者総合支援法	66名
	③ ④ 措置等	15名
	⑤ 生活応援サービス事業	16名

【主な活動】

- ・初任者研修 実習生受け入れ
- ・市社会福祉研修センター初任者研修等講師補助
- ・なごやかスタッフ研修 年14回開催
(内容: 倫理・感染症・認知症・身体介護他)
※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、
集合形式の他、書面で開催
- ・なごやかスタッフサロン交流会
(月末書類提出時など)
- ・サービス提供責任者キャリアパス研修
- ・なごやかスタッフ退職者による「OG会」
ボランティア啓発事業
(内容) 外出ボランティア、社協実習生へ
在宅支援体験伝達、ライブ企画参加等



3 令和5年度守山区東部いきいき支援センター事業への協力

(1) 総合相談受付実績

高齢者に関する様々な相談を受けとめ、適切な機関・制度・サービスへつなぐ等、課題解決に向けた継続的な支援を行いました。

分類	実件数	延べ件数
虐待相談	12件	49件
権利擁護関係	6件	42件
消費者被害関係	1件	1件
健康・福祉・介護等関係	2,442件	8,207件
合計	2,461件	8,299件

※その他集合住宅（本地丘荘）での出張相談を11回実施

(2) 認知症の方にやさしいまちづくりに向けた事業の実施

認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指し、地域住民への認知症の普及啓発を進める他、認知症の人やその家族が社会参加できる場づくりや社会基盤の整備を行いました。

事項	実施回数	人数	内容等
認知症サポーター養成講座	年23回	延べ456名	(対象) 一般市民、小学生、中学生、高校生、大学生、行政 等
認知症サポーター向け情報誌発行	年2回	—	サポーター活動の充実とスキルアップのための情報紙を発行。
認知症サポーターフォローアップ講座	年2回	延べ62名	講義やグループワーク、サポーター活動事例の紹介を通じて、サポーターとしての知識習得や、自分にできる活動を考える機会を提供。
守山区 キャラバンメイト連絡会	年3回	延べ43名 (うちメイト21名)	認知症サポーター養成講座の質向上に向けたキャラバンメイト同士の情報共有。
守山区 認知症カフェ運営者 連絡会	年3回	延べ26名 (うち運営者11名)	各カフェの運営状況や関連情報の共有。
守山区認知症カフェ 拡大版	年1回	68名 (うち関係者10名)	小幡緑地内「おハッパッタ Café マホシ」にて、当事者のウクレレ演奏等を楽しみながら認知症の理解を促進。
出合いの会	年12回	延べ135名 (うち当事者40名)	認知症の当事者の交流会
認知症講演会	年1回	307名	認知症の啓発を目的に、認知症介護、認知症予防の関連したテーマの講演を実施。 ・「ストーリーの勧め」(講師：渡辺哲雄氏) ・「音楽の力で認知症予防」(講師：高橋真由美氏)

(3) 認知症の方を介護する家族への支援事業

事 項	実施回数	人 数	内 容 等
家族教室	年 10 回	延べ 32 名	認知症の解説、支援制度の学習、認知症の方への関わり方の学習。
家族サロン	年 12 回	延べ 55 名	家族介護者同士の悩み相談、情報交換の場、リフレッシュのための交流会。
もの忘れ相談医による専門相談	年 12 回	延べ 20 名	守山区医師会から派遣された「もの忘れ相談医」による相談。

(4) 認知症初期集中支援チーム

医療・介護の専門職と専門医とで構成されたチームが、認知症が疑われる人、認知症の人とその家族への訪問等による支援を通じ、自立生活のサポートをしました。

チーム員会議	22 回
対応件数	33 件

(5) 介護支援専門員への支援とネットワークづくり

介護支援専門員が関係機関と連携できる環境を整えるとともに、介護支援専門員間のネットワークづくりや資質向上に向けた取組みを実施しました。

事 項	実施回数	人 数	内 容 等
ケアマネ勉強会	4 回	延べ 208 名	各回テーマは「判断能力低下による金銭トラブルや管理面に問題を抱えた人への支援」、「地域包括ケアにおける在宅医療と介護（口腔ケア）」、「重層的支援体制整備事業におけるケアマネの役割」、「カスタマーハラスメントの現状と対策」。
自立支援型事例検討会	1 回	12 名	経験年数 5 年未満のケアマネを対象。リハビリ専門職（PT）を講師に招き自立支援のための事例検討会を実施。
民生委員児童委員・ケアマネジャー連絡会	1 回	38 名	小幡学区の民生委員とケアマネが一堂に会し、民生委員の活動、ケアマネの役割や仕事など相互理解を深めるとともに、事例を通じてそれぞれができることを考え共有。
「どんぐり通信」の発行	12 回	—	介護予防支援等を委託している事業所のケアマネを対象に業務に役立つ情報を発信。（東西 6 回ずつ担当）

※他、守山区西部いきいき支援センターとともに勉強会、各種ネットワークの後方支援などを行いました。

(6) 介護予防の取り組み

地域住民に対する介護予防の普及啓発を目的に、各種取り組みを行いました。

事 項	実施回数	人 数 等	内 容 等
いこいこイオン	年 11 回	延べ 294 名	リハビリ専門職を講師に招き、地域住民を対象とした介護予防の啓発を実施。
本地丘出張相談（ラジオ体操）	年 11 回	相談：延べ 17 名 ラジオ体操：延べ 60 名 薬局イベント回：約 30 名	市営住宅の敷地内で住民を対象とした出張相談を行う傍ら、運動習慣の動機づけを目的にラジオ体操を実施。
いきいき通信の発行	年 2 回	送付：延べ 500 件 配架：延べ 860 部	介護予防対象者に対しクイズ等を掲載した通信を発行。返信用封筒で回答する仕組みとし、介護予防に関してや困りごと等を相談しやすい機会を創出。

(7) 高齢者の見守り支援

ひとり暮らしの高齢者などが孤立状態に陥らないよう、訪問などの個別支援や、ボランティアと協力した電話訪問活動「いきいきコール」に取り組みました。地域における見守り活動を支援することを目的として取り組みました。

① 見守り支援事業相談・通報件数

相談者 通報者	本人	民生委員	サービス 事業者	区役所	その他	合計
件数	1件	1件	0件	3件	10件	15件

② 電話訪問「いきいきコール」の実施状況

コールボランティア登録人数	電話訪問利用者実人数	電話訪問実施延べ回数
5名	28名	988回

その他、地域における見守り活動の支援や見守り活動の啓発を目的に、以下にも取り組みました。

③ 「つながりづくり」協力者の開拓

地域での住民同士のつながりが希薄である今、地域での見守り体制が必要です。そのことを周知するために作成した「3つのかけるでつながろう」のチラシとポスター掲示を、地域の各種会合（民児協やサロンなど）でご協力をお願いしました。

④ 見守り支援事業者との連携協定（見守りあんしんプラス）

名古屋市中日会守山支部と東西いきいき支援センターが協定を結び、センターが把握する見守り対象者の一部の方に対して、区内の中日新聞販売店が新聞配達ルートの中で安否確認を行いました。（区内総対象者：9名）
また、新聞販売店と見守り支援員とのパイプを強化する目的で発行している「見守りあんしんプラス通信」を年2回発行しました。

⑤ 見守り出張講座

守山区東西いきいき支援センターが合同で、見守り出張講座の資料を作成しました。サロンなど地域住民の方が集まる場所に、見守り支援員が出張し、守山区における高齢者福祉分野での取り組みやつながりづくりなど、わかりやすく学ぶことができる内容となっています。
（東部 出張回数：3回／参加人数：延べ49人）



(8) 指定介護予防支援事業及び第1号介護予防支援事業

要支援・要介護状態になる恐れのある人や要支援1・2と認定された方が必要なサービスを利用できるようケアマネジメント等の支援を行いました。

年間給付管理数	12,505件
---------	---------

4 車椅子 貸し出し事業

学校等での体験学習や外出等で一時的に必要とされる方に、原則7日を限度として車椅子の貸し出しを行いました。

椅子貸出し件数	88 件
---------	------

9 生活福祉資金貸付事業

愛知県社会福祉協議会と協力し、経済的な自立や在宅福祉の向上を図るための資金貸付事業を行いました。

<貸付相談・申請・決定件数>

		貸付実績			
		相談 (件)	申請 (件)	決定 (件)	決定額 (円)
生活 福祉 資金	総合支援資金	167	0	0	0
	福祉資金（福祉費）	48	0	0	0
	福祉資金（緊急小口資金）	117	0	0	0
	教育支援資金	26	0	0	0
	不動産担保型	9	0	0	0
	一時生活再建費	1	0	0	0
	（小計）	368	0	0	0
臨時特例つなぎ資金		0	0	0	0
生活復興支援資金		0	0	0	0
合 計		368	0	0	0

10 心配ごと相談事業

*昭和25年度から開始

法律や行政等の専門家が、日常生活での困りごとや悩みなどの相談を受ける「心配ごと相談事業」と、国で定める人権擁護相談及び行政相談とも連携し、毎月第2・第4木曜日に3相談事業（窓口）を同時に開設しました。

令和5年度は、コロナ禍で減少していた相談件数を取り戻すため、「元気まつり」をはじめとして、様々な場でPRを行いました。相談件数は前年度より増加し、新規の相談も増加がみられ、相談者の属性や相談種別も多岐にわたる内容のご相談をいただきました。

また、心配ごと相談から社協等の各専門窓口への繋ぎをスムーズに行いました。



「心配ごと相談員研究会」
消費生活センターの役割と
消費者被害

- 【実施日時】 毎週木曜日 13時から16時
- 【実施日数】 50日（前年度比+3日）
- 【相談件数】 46件（前年度比+11件）
- 【相談時間】 平均89分／1回
- 【相談員数】 9名（他に、人権擁護委員5名・行政相談委員2名）

11 在宅サービスセンターの運営

区内で活動する福祉団体やボランティア団体へ研修室や会議室、調理実習室等を貸し出しました。

また、ボランティア連絡協議会をはじめ、各種ボランティア団体、地域住民とともに下記の事業に取り組みました。

■年間利用状況

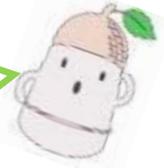
事項	研修室	ボランティア ルーム	録音室	点訳室	調理実習室	合計
延利用団体数	327 団体	225 団体	50 団体	69 団体	276 団体	947 団体
延利用者数	5,106 名	1,468 名	180 名	115 名	1,148 名	8,017 名

■実施事業（本会主催の定例実施事業）※ボランティア活動の再掲

事業名	開催日	会場等
わいわいサロン（体操）	毎月第2金曜日	研修室
事業名	開催日	会場等
声の図書・録音テープ貸出し	毎月第2土曜日	ロビー
子ども点字教室	毎月第2土曜日	相談室
折り紙を楽しむ会	毎月第2土曜日	ボランティアルーム
おもちゃ病院	毎月第4土曜日	ロビー
健康もりモリッス体操クラブ	毎月第4土曜日	研修室
みんなであうたいましょう	月1回	中止

1 2 児童館・福祉会館の管理運営

守山児童館
キャラクター
「ハニット」



1 守山児童館の管理運営

児童厚生施設である守山児童館の指定管理者（令和2年度～令和6年度）として、本会が管理運営を行いました。令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類に移行したことにより、5月以降は従前に近い形で実施しました。しかしながら、手指消毒の設置や常時換気等の感染拡大防止対策を継続することで、安心して来館していただくとともに、事業内容の充実、実施方法の工夫により楽しく様々な活動に参加できるよう努めました。

【主な事業】

(1) 幼児・子育て家庭を支援する事業

① 前・後期クラブ活動の実施

親子体操、リトミック、英語 de あそぼう、つくってあそぼうクラブを開催し、子どもの成長と親同士の仲間づくりを進めました。

② 移動児童館の開催

志段味地区会館(10回) 守山生涯学習センター(2回) 大森会館(1回)で開催。

③ バランスボールエクササイズ

子どもではなく、保護者が「自分のための時間」をもつことで、ストレス発散につなげました。

④ 企業との協働事業(子育て中の方等を対象としたセミナーの開催)

管理栄養士等による「離乳食の進め方」「離乳食から幼児食へ」のお話。

⑤ スターペアレンティング(758 キッズステーション、守山区役所共催事業)

居心地の良い親子関係や楽しみながら子育てをする方法を学びました。

(2) 子ども(児童等)の主体性などを育む事業

① 前期・後期クラブ活動の実施

将棋、囲碁、オセロ、工作、卓球、科学実験クラブを開催し、より専門的な能力の向上と遠距離でも参加できるよう、土・日曜日に開催しました。

② おばけやしき・こどものまち

企画・運営を通じて、創造性や協調性を培い、達成感を得ました。また、こどものまちでは、社会の仕組みや働くことの意味を学びました。

③ 4コマまんがコンテスト

テーマを決めず、自由な発想で4コマまんがを描きました。募集した作品を児童館内に掲示して、みんなの投票で優秀賞を決めました。

④ ハニット畑

「何を植えるか」から子どもたちで話し合い、協調性や責任感を育みました。

⑤ <新規>科学実験クラブ

令和4年度は、「科学実験教室」として、単発で開催していましたが、令和5年度は、「科学実験クラブ」とし、定期的、継続的に開催することで、より科学の楽しさを知りながら、学べるようにしました。

(3) 中学・高校生を応援する事業

① 中高生専用の時間帯として「ナイター児童館★フレンドリータイム」の開催
(毎週金曜日 17:00~20:00)

友達とおしゃべりをしたり、卓球をしたり、学校の宿題をしたりする場を設け、中高生の利用促進と家・学校以外の第3の居場所づくりを実施しました。

② 中学生の学習支援・高校世代への学習・相談支援

(火・水曜日 18:15~20:15)

生活困窮者・ひとり親の家庭を対象に、貧困の連鎖を断ち切り、自己実現を目指しました。

学習時間は勉強に集中し、休憩時間はアットホームな雰囲気の中で学習サポーターや生徒同士の交流を深めました。

(4) 新しい生活スタイルに対応する事業

インスタグラムの活用

家庭で楽しめる創作活動のヒントや事業の様子などを発信することで、親子のコミュニケーションが深まることを支援しました。



科学実験クラブ



移動児童館 (志段味地区会館)



こどものまち



おばけやしき

2 守山福祉会館の管理運営

本会は老人福祉施設の指定管理者（令和2年度～令和6年度）として、令和5年度の守山福祉会館にかかる管理運営を行いました。新型コロナウイルス



守山福祉会館
キャラクター
もりぴい

感染症の位置づけがいわゆる「5類感染症」とされて以降も、引き続き基本的な感染対策を行いながら、以下のとおり様々な事業に取り組みました。

【主な事業】

- (1) 通年講座として、「やさしい書道」をはじめとした「趣味の講座」13 講座を定期開催
- (2) 月替わりの単発講座として、運動系の「体操 de 元気プログラム」及び文化系講座を開催
- (3) 整形外科医及び内科医による月1回ずつ開催の「健康相談」、並びに健康チェック・フレイルチェックを実施
- (4) 認知症予防事業として「認知症予防教室」「認知症予防リーダー養成講座」等を開催
- (5) 広報媒体である「福祉会館たより」「公式ウェブサイト」「Instagram」を通じた情報発信
- (6) 中庭の一部を利用した菜園事業による収穫物を子ども食堂に提供
- (7) 自由利用として、「体操室すくら」「大広間卓球」及び「囲碁・将棋室」の利用提供（原則時間指定）
- (8) 同好会等への部屋貸しによる活動の場の提供及び舞台発表会の開催支援
- (9) 認知症予防リーダー・フレイル予防リーダーの活動支援として「守山まめなし MaMeNaSi」「どんぐりくらぶ」「どうする？フレイル予防」の開催やサロンへの人員派遣
- (10) 気兼ねなくスマホ等が使えるよう、館内にフリーWi-Fiを設置。

【中止継続事業】

- (1) 入浴事業



「ベジタスヨガ」（趣味の講座）



認知症予防教室（わくわく教室）

13 共同募金運動への協力

1 赤い羽根共同募金運動（10月1日～12月31日）

【目標額】	9,939,000円
【実績額】	9,295,733円（前年度比 640,326円減）

2 歳末たすけあい募金運動（12月1日～31日）

【目標額】	450,000円
【実績額】	493,692円（前年度比 42,805円増）

3 災害義援金 令和6年能登半島地震（1月1日～3月31日）

【募金額】	1,793,715円
-------	------------

4 赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール（書道・ポスター作品募集）

例年、区内の小・中学校生から応募のあった作品の中から優秀作品を選定し、「優秀」に選ばれた作品を本会広報紙及びホームページへ、「佳作」に選ばれた作品をホームページへ掲載しました。

【応募数】

書道の部	…	1,573点
ポスターの部	…	240点

【学校からの推薦数】

書道の部	…	95点
ポスターの部	…	89点

【優秀・佳作点数】

書道の部	…	優秀：10点・佳作：10点
ポスターの部	…	優秀：10点・佳作：10点



令和5年度
名古屋市長賞受賞作品

4 街頭募金

地域福祉推進協議会等の地域関係団体やボランティアの協力により、区内各所で街頭募金を実施しました。

【回数】	2回
【実績額】	43,467円



アピタパワー新守山店で
の募金活動（瀬古学区）